

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育方針の共通理解と全体的な計画等の作成	1	保育の理念や基本方針が子どもを尊重したものになっており、全職員が理解し、実践しているか	A	園内に保育理念・保育方針・スタッフの使命を掲示している。年度初めの職員会議や研修時に読み合わせや確認をし、周知徹底している。
	2	全体的な計画は基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一にして作成されているか	A	前年度の見直しをし、職員会議で読み合わせをし、作成している。
	3	日常の保育を通して子どもの意見や意思をくみ取る努力をし、指導計画に反映させているか	A	子どもの成長を考慮し、計画を柔軟に見直している。言葉で表現できない子どもの場合などは、気持ちを代弁しながら意思を確認したり安心感が持てるようにしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・園内に保育方針・保育目標・スタッフの使命等を掲示し、意識を高めるようにしている。 ・年度初めに、しおりやハンドブックの読み合わせをしている。 ・振り返りを行い、保育計画に反映している。 【課題・対策】			
子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施	4	入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか	A	入園児に個人面談を実施し、担当が把握する。重要事項は全職員で共有する。
	5	新入園児受け入れ時の配慮を十分しているか	A	園児の状況に応じ、1週間程度の慣らし保育をおこなう。保護者との情報共有・交換のために保護者用アプリ『コードモン』の連絡ノート機能でコミュニケーションを図っている。
	6	子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか	A	クラス担任が中心となり、作成し、年に数回振り返り・反省を元に見直しを行っている。保護者の意向も可能な限り反映している。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・入園前に個別に子どもの様子を聞き取り、スタッフに周知して受け入れ準備をしている。 ・慣らし保育は子どもの様子に応じ、負担になっている場合は保護者と相談し、ゆっくりと進めている。 ・専門機関との連携、情報共有を行っている。 ・法人として顧問契約をしている臨床心理士の巡回・相談に来ていただいている。フィードバック後は、全スタッフで共有している。 【課題・対策】 ・年度末の園内会議では、新入園児の情報と在園児の引継ぎを特に重視し情報共有を図っていく。			
快適な施設環境の確保	7	子どもが快適に過ごせるような環境への配慮がなされているか	A	各部屋に温湿度計を設置し、チェックをする。毎日清掃・消毒をおこない、清潔を保つようになっている。
	8	子どもの発達に応じた環境が確保されているか	A	食事や午睡の空間を作っている。異年齢交流、自由保育、コーナー保育などを取り入れている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・スタッフが当番制で行い、清潔を保つようになっている。 ・換気を適宜行い、空気入れ替えをする。 ・快適な環境になるよう随時話ながらその時期に適した空間作りを行っている。 ・園内研修にて、お部屋の過ごし方、保育設定など話し合いが持てる時間を設けている。 【課題・対策】 ・法人本部と連携を取りながら随時、建物内部（内装）の補修をしていく。			
	【課題・対策】 ・法人本部と連携を取りながら随時、建物内部（内装）の補修をしていく。			
一人一人の子どもに個別に対応する努力	9	子ども一人一人の状況に応じた保育目標を設定し、それに合わせた個別指導計画を作成しているか	A	0～2歳児は一人ひとりの状況に応じた個人別の月案を作成している。
	10	子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか	A	成長発達記録・園児健康診断記録表・健康カルテ等、必要書類をコードモン内に記録をし、全職員で情報共有をしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・入園児、進級時には全体会議にて園児ひとりひとりの発達状況などを全スタッフで周知している。 ・また園児引き継ぎ資料を使用して、重要な申し送り事項もしっかり伝えている。 ・年に2回の個人面談や保護者との連携を日頃から行い、状況の変化や把握に努めている。 【課題・対策】 ・口頭だけでなく一人ひとりの成長を引き継ぎ表に記録し、最終年度に至るまでの育ちに関する記録を残していく。			

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み	11	特に配慮を要する子どもを受け入れた場合、保育する上で、必要な情報が共有化されているか	A	ミーティング時に情報共有をし、対応を話し合っている。外部の専門機関の研修に参加し、その内容も共有をしている
	12	虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか	A	毎日の受け入れ時に視診・触診を丁寧にしている。送り迎え時の会話などからも早期発見に努めている。独自の児童虐待マニュアルを配備しており、全職員で研修をしている。
	13	アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができていますか	A	独自のアレルギー対応マニュアルを配備し、全職員で研修をしている。マニュアルに沿って、書類、環境、備品を整え、誰でもわかるよう対応をしている。
<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配慮を要する園児については定期的にクラス会議等で話し合い、今後の対応について考えている。 ・専門機関との連携、情報共有を行っている。 ・法人として顧問契約をしている臨床心理士の巡回・相談に来ていただいている。フィードバック後は、全スタッフで共有している。 ・アレルギー児は固定席で専用トレーで配膳している。また、台ふきなど個別のものが用意されている。 ・週一回、気になる子会議を設け、園児の特筆すべき事柄について、意見交換を行うようにしている。 <p>【課題・対策】</p>				
苦情解決体制	14	保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか、また迅速に対応できる仕組みになっているか	A	苦情処理規程にそって、園内に苦情受付体制の掲示をしている。園だけではなく、第三者委員、公的機関にも要望や苦情を伝えられる仕組みになっている。普段の要望はコドモン内の連絡ノート機能や行事アンケートでも伝えることができる。
<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園内に「意見箱」を設置している。 ・また、懇談会、個人面談、行事後のアンケート等で保護者の要望を聞く機会を設けている。 ・保護者からの意見、要望は掲示し公表している。 ・年二回運営委員会を実施している。保護者との意見交換や要望の吸い上げを行っている。 ・昼礼にて職員へ共有している。 <p>【課題・対策】</p>				
保育内容(あそび)	15	子どもが主体的に活動できる環境構成ができていますか	A	年齢や発達に応じたおもちゃをそろえている。自由遊びの時間はコーナー保育ができるよう工夫をしている。
	16	遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか	A	朝・夕は子どもたちが自由に遊べるように時間を設けている。
	17	動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか	A	おいも掘りをおこなっている。野菜・花の栽培やカブトムシを育てたりしている。
	18	子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか	A	独自の能力開発プログラムの中に、絵描き歌、運動プログラム、文字や数字に興味をもてるテキストを準備している。またそれを毎日の保育に取り入れている。
	19	遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか	A	朝、夕の合同保育の時間だけでなく、異年齢保育をおこなっている。園児同士の関わりだけでなく、職員が仲立ちをしながらか話や関わりを持って保育をしている。
<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各保育室毎に玩具を子どもが自由に取り出せるよう環境設定をしている。 ・散歩の時、近隣の方と挨拶をしたり、近隣の商店で挨拶をするなど交流を深めている。 ・パレット学習タイムでは年齢に合った活動を継続して展開している。 ・カブトムシなど生き物の飼育を5歳児中心で実施。その成長過程を実際に体験することができた。 ・夏だけでなく、可能な限り食物を育てるようにしている。 ・近隣園と交流をする場を設けている。 ・近隣施設にて社会見学を実施し、交流する場を設け、地域の活性化に努めている。 ・可能な限り、月一回程度地域子育て広場を設けている。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由に取り出せるようにはしているが各玩具の選定はスタッフがやっている。もっと自由に子ども達が出したい、遊びたい玩具が取り出せるよう工夫が必要 				
保育内容(生活)	20	食事を豊かに楽しむ工夫をしているか	A	個々の食事に配慮しながら、完食の喜びを味わえるような調理方法や配膳方法を工夫している。職員も指導食を食べながら、食材についての話をしたりと楽しい雰囲気の中で食事ができるよう声をかけている。
	21	食事の場、食材、食器等に配慮しているか	A	献立は、季節の移り変わりに合わせ、旬の食材を使用し、行事メニューや物語メニュー郷土料理メニューなどを取り入れている。食器・食具は年齢に合ったものを使用している。
	22	子どもの喫食状況を把握して、献立の作成、調理の工夫に活かしているか。	A	給食スタッフは子どもたちの喫食状況を見て、残食状況もチェック・記録し、献立作成に反映させている。2週間ごとの繰り返しメニューにすることにより、切り方、味付けの工夫を改善できる。
	23	午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。	A	乳児はコドモン内の睡眠チェック表を使用し、睡眠時の体調をチェックしている。年長児は秋以降から午睡時間を減らしていくが、個々の状況で対応している。室温や採光の調節をし、心地よい眠りにつけるよう配慮している。
	24	排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。	A	各家庭と連携を取りながら、無理のないように進めている。トイレがリラックスしていける場所になるよう環境面の工夫をしている。
<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しく食事ができるよう、個々の食事に合わせた対応をする。 ・マナーについて、個別に声をかけたり、全体に話をする機会を設けている。 ・各年齢に応じた食育は、保育士と給食スタッフにて行っている。 ・年長児は徐々に睡眠を減らしていくが、行事等で疲れている時は身体を休めるなど、柔軟に対応している。 ・排泄状況に応じて、トイレへの促しを行う。 ・年齢に応じた食育活動ができるよう給食スタッフと連携を行っている。 				

2025年度自己評価表

評価日：2026年2月19日

2023.07.24第三版

項目	番号	内容	評価	実施していること
		【課題・対策】 ・トイレの数に限りがある為、集中してしまったときは別室のトイレを使用させるなど対応していく。		

項目	番号	内容	評価	実施していること
健康管理	25	子どもの健康管理は、適切に実施されているか。	A	園児健康診断記録表や健康カルテに、個々の健診・測定の結果を記録している。既往症・アレルギー等については全職員で情報共有して対応をしている。
	26	感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。	A	独自の感染症マニュアルがあり、保護者にご協力いただく部分は園のしおりに記載をしている。
	<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣園と連携を取り、感染症の有無等適宜連絡を取っている。また、近隣小児科に連絡を取れる状況で合ったり、歯科医の歯みがき指導を行い、健康管理に気を配っている。 ・感染症が流行したら、配信等を行い、周知できるようにしている。 ・入園のしおりに記載があり、入園時年度変わりに配布または配信し、説明をしている。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配信や掲示を行っているが、重要性が個々によって受け取り方が違うので、進級説明会等で最初に伝えるようにしていく。 ・嘔吐処理セットを使用後、補充を忘れてしまうことがあるので、週末、月末に確認を行う。 			
衛生管理	27	衛生管理が適切に行われているか。	A	保育室・トイレ・厨房を毎日清掃し、掃除チェック表を用いて管理している。
	<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理マニュアルに則して清掃を毎日行っている。 ・消毒済みの札を使用し、目視で消毒したかわかるようにしている。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予防、衛生管理を徹底し、感染源にならないよう様々な配慮を行う。 			
	<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パレット保育園は商店会に属しており、会のネットワークが強い。また、近くに商店会会長がおり、何かあれば連絡をもらえることや、人の目があがる。同様にハロウィンパレードなど地域とのかかわりを多くとっているため人の目を意識できる。 ・防犯対策として、園内外に防犯カメラを設置している。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園内会議で、ヒヤリハット等の事例を用いて定期的に研修し、事故防止に努めていく。 ・外部からの侵入に対する対策や園外での不審者対応を全スタッフで定期的に確認する。 			
安全管理	28	安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。	A	毎月1回の避難訓練を通し、職員間でも常に迅速に対応できるよう話し合っている。全スタッフが救命救急研修を受講している。コドモンによる緊急メールおよび緊急掲示板で保護者への連絡がスムーズにできるよう配慮している。
	29	事故やけがの発生時及び事後の対応体制が確立しているか。	A	事故の振り返りシートを作成し、再発防止を園内で話し合い、実行している。近隣医療機関をまとめた一覧を作成し、迅速に対応できるようにしている。
	30	外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。	A	玄関はオートロックになっており、在園児の保護者のみにカードキーを付与している。来客やカードキーを忘れた場合は名前・顔確認後に施錠解除している。警備会社への通報システムがある。不審者対応訓練を年1回おこなっている。
	<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パレット保育園は商店会に属しており、会のネットワークが強い。また、近くに商店会会長がおり、何かあれば連絡をもらえることや、人の目があがる。同様にハロウィンパレードなど地域とのかかわりを多くとっているため人の目を意識できる。 ・防犯対策として、園内外に防犯カメラを設置している。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園内会議で、ヒヤリハット等の事例を用いて定期的に研修し、事故防止に努めていく。 ・外部からの侵入に対する対策や園外での不審者対応を全スタッフで定期的に確認する。 			
人権の尊重	31	保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。	A	否定語を使わないよう職員間で話し合ったり、研修などで言葉づかいを振り返ったりしている。子どもの名前は呼び捨てにしない。
	32	必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。	A	仕切りを使うことでプライバシーを確保したり、好きな遊びや一人になれるコーナーを設置している。
	33	個人情報の取り扱いや守秘義務について職員に周知しているか。	A	守秘義務については全職員が入社時に説明・研修を受け、誓約書を提出している。保護者にも個人情報の取り扱いについて同意書をいただいている。個人情報は鍵のかかる書庫で管理をしている。
	34	性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。	A	発表会での役決めなどは子どもたちと話し合っ決めていく。父の日、母の日は感謝の日とし、父・母で分けることはしない。
<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊び込める空間作りを行い、会議等で見直しもしている。 ・「保育士として適切な言葉遣いとは」の研修を取り入れ、振り返った。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プライバシーを守れる空間作りや対応についてここが日々意識していく。定期的に会議で人権について確認する。 				
保護者との交流・連携	35	個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行い、情報共有や相談対応をしているか。	A	送迎時に様子を伝えるだけでなく、年1~2回個人面談をおこなっている。またそれ以外でも相談があった際には個別に対応している。
	<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当が不在の場合でも他の職員が伝達出来るように申し送りを伝達、記録している。 ・毎月1回の参観にて保護者との交流を図っている。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者支援を個々の状況に応じて細やかに行う。 			

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育所の専門性を活かした相談機能	36	地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。	A	育児相談日(要予約)を設け、対応している。夏祭り等は園を開放し、地域住民の方も気軽に園を見ることができるようになっている。
		<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 給食試食会や夏まつり解放を行っている。 園門扉近くに園だよりや相談のお知らせを掲示し、共に問い合わせについては傾聴し、丁寧に対応している。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 門扉に掲示はしているが、相談回数が少ないため、周知の仕方を再検討する必要がある。 		
保育所の地域開放	37	子どもと地域との日常的な交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。	A	近隣園と交流をしたり、地域のイベントやお祭りに参加している。お散歩時には地域の方に積極的に挨拶をし、交流するようにしている。
	38	利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。	A	定期的に見学日程を設け、対応している。また都合がつかない方には個々の希望日に対応している。ホームページにも詳細を記載し、メールでの問い合わせも可能としている。
		<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 給食試食会や夏まつり解放を行っている。 近隣保育園と交流を実施するとともに、地域の商店と協力したり、自治会への参加を行っている。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 育児相談をHPなどに公開し、気軽に活用できる仕組みづくりをしていく。 		
実習生・ボランティアの受け入れ	39	実習生・ボランティアの受け入れを適切に行っているか。	A	希望があった場合、できる限り受け入れをしている。受け入れ時には施設長が園の方針や注意事項等をしっかりと伝え、参加してもらっている。
		<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実習生や高校生の職業体験や受け入れは積極的に行っている。 保育士の役割や必要なことなど指導している。 <p>【課題・対策】</p>		
職場の人材育成	40	保育園の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。	A	募集媒体・ホームページ・面接時にパレット保育園の理念や方針が伝わるように説明している。また入社後も内部・外部問わず研修に参加している。
	41	職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。	B	法人本部のさまざまな研修や外部研修を利用し、一人一人にあった育成計画にそって受講している。研修を受講した職員は研修報告書を作成し、内部研修にて他の職員と共有している。
		<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 園の保育理念・方針に沿った人材育成計画があり「スタッフできたかな表」を活用して育成を行っている。 資質向上に向けた自己目標を設定している。 「スタッフできたかな表」は、健康管理・守秘義務・時間管理等の一般基本事項、ケアや指導に関する事項に対して実行できたかどうか自己評価を記入する。記入後、施設長と面談をし、達成度を評価する仕組みになっている。 園内会議で専門リーダー研修の内容を周知し、専門性を保育に活かしていく。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き勤務歴の浅いスタッフに向けて個別の振り返りシートを活用し指導していく。 全員が揃っての研修機会は取れず、共有のみになることもある。平日の昼礼の際に機会を設けるようにしていく。 		
職員の技術の向上	42	保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずからの実践を評価し、改善に努める仕組みがあるか。	A	園内会議だけでなく、クラスや部屋の会議などを利用して、振り返りをおこない、計画作成に反映させている。
	43	保育士等の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価を行っているか。	A	年1回、自己評価シートを使い、会議などで振り返りをおこない、チェックをする。課題を見つけ、改善策などを意見交換している。また第三者評価も受審し、客観的な振り返りもおこなっている。
		<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修を受講した職員は、研修報告書を作成し、情報共有したり、内部研修に発展させている。 週案や月案で振り返りをしたり、クラス担任間で話し合いをしている。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体会議等で各自が受け身にならないようスタッフからの意見も聴きつつ研修計画を立てていく。 		
経営管理	44	事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。	A	法人本部にて最新情報入手し、共有をしている。職員採用時には法人本部にて初期研修をおこない、個人情報の遵守、倫理について学んでいる。
		<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎月一回発行される運営要項の読み合わせやGニュースを閲覧し、最新情報を共有している。 全スタッフに配布されているハンドブックに記載されている内容を全体会議などで周知している。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 最新情報を共有していく中でスタッフが安心して働けるようわかりやすく丁寧に説明していく。 		
園目標や自己評価結果に対するの反省・課題(事業報告書へ)		<p>・近隣園での交換研修や交流を実施し、つながりを持つことができた。ミニ面談やスタッフ研修など取り入れることができ、クラスの振り返り時間も積極的に取ることができた。また、引き続き地域とのかかわりを持ち行事や日々の保育活動に活かすことができた。今年度からInstagramを実施し、パレット保育園のカリキュラムや園の様子を掲載することができ、園と保護者、外部に向けて、保護者支援や共通理解を深めることができた。スタッフ一人ひとりの保育の向上、保育の連携についてはまだ課題が残っており、次年度は細かな部分まで研修や話し合いが出来るようかわる時間を作っていく。</p>		